

お雛様と無病息災

飄

々

広報委員

岸本 千種

子供のころ春になると、狭い実家の六畳間に、七段飾りのお雛様が鎮座した。組み立て式の雛壇に、総勢15人の人形が並んで、にぎやかだった。大きいことはいいことだ、の時代である。戦中派の母の憧れでもあったのだろう。

押し入れの下の段から大きな箱を引っ張り出して、さらに中の箱から一体ずつ出す。烏帽子をかぶせたり、扇や笛などの小道具を持たせたり、家族総出で一日がかりの恒例行事であった。

片付ける時も一仕事だった。「4月3日過ぎたら、早う片付けん」と、ほこりを払って薄紙に包んで、それぞれ箱に納めていった。

そのうち雛壇を組み立てたり、全員出すのが面倒になり、主役二人だけを出して飾るようになってしまった。私達が家を出てから数年後、最後は「ひとまとめにして、電車を乗り継いで人形寺へ持って行って供養してもらった」と母から聞いて、ほっとした。

どちらかと言えば、お雛様も人形も苦手だった。リアルに人間に近い姿で美しい程、自分と同じ部屋に置いてあると、落ち着かない気持ちになる。最後のことを考えると、今でも所有したくない。普通のごみとして捨てるなんて怖くてできない。

今年は、そんな私が、あちこちのお雛様を見に行った。美術館巡りと同じ感覚で、落ち着いて楽しめるようになった。お雛様が、厄や災いの肩代わりをしてくれると聞いたからかもしれない。

二月のデパート、お雛様売り場には、主役ペア二人だけの親王飾りが多かった。お顔も着物も大人っぽく美しい。抱えられる大きさのガラスケー

スに入っていたり、台が収納箱になっている。五人飾りのは、下の段に三人官女が並ぶが、これまた収納箱に片付けやすく工夫されていた。

山口ならではの白塗りのお雛様もあった。りんご位の大きさで、ころころして北京五輪の公式マスコットのピン・ドゥンドゥンと似た可愛らしさもある。艶やかな渋めの朱色で、穏やかでほっとした。

懐かしの七段飾りは展示されてなかった。五人囃子も大臣も、メンバーに入っていない。みんなどこへ行った？ 住宅事情もあるし、やはり手間がかかるのは敬遠されるのか。

光市室積の「光ふるさと郷土館のひなまつり」に行ってみた。入ってすぐ正面に、昭和10年代、20年代、30年代の豪華な七段飾りのお雛様がドーンと並び、迫力があつた。数十年を経たとは思えない綺麗さで、大切に伝えられてきたのが分かる。

更に奥にあるギャラリーで同時開催の「竹取物語の世界」が印象的であった。

雛人形を使って、かぐや姫の誕生から、月に帰るまでの場面を立体絵本みたいに作り上げている。それぞれの雛人形は、静止しているが、配置とポーズで、生き生きとした動きを感じる。

真正面を向いて、じっとしているのがお雛様、という先入観を覆す展示であった。こんなフィギュアみたいな使い方をしてもいいのだと、新鮮だった。

小道具の使い方も楽しく、白い竜が舟に襲いかかる場面も、迫力があつたながらもポケモンみたい

な楽しさがあった。かぐや姫が月に帰る場面も、竹灯が幻想的で歌舞伎を連想した。

アウトドアでは、「商都柳井おひなさま巡り」に行ってみた。しっとりした白壁の町並みを散策しながら両側の商家の、お雛様を拝見できた。

防府の天神様の参道も両側のお宅にお雛様が飾られていた。通りを歩く人の目を楽しませる心遣いに、参拝の行き帰りも和んだ。

防府毛利博物館の企画展「姫君ゆかりの美」ではお雛様のお道具を見学した。黒を基調に金色の模様が描かれた蒔絵のお道具が、一面に並べて展示されていた。実際の道具をミニチュアで精巧に再現されており、1センチ以下ミリ単位の小さな品々もあった。

長府毛利邸のひなまつりや、萩城下町のひな祭りも行きたかったが、今年は間に合いそうにない。来年の宿題にすることにした。

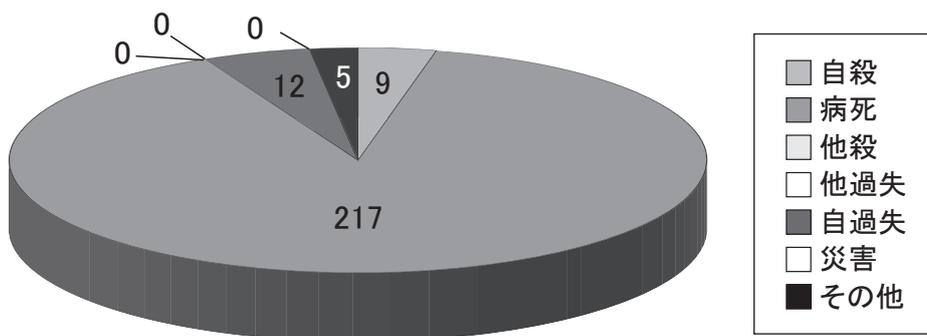
3月の広報委員会の帰り道、「第7回 ゆったりと一の坂川のほとりでひな流し」の薄桃色のパンフレットを見かけた。

4月3日、満開の桜の下で、徳地手すき和紙で作ったおひなさま舟のひな流し、さぞ雅なことと心惹かれる。平安時代から続く、無病息災を願う行事とのこと。コロナ禍が続く、まさに今年の春らしい行事だ。行ってみよう。ひな舟は、流しっぱなしではなくて、ちゃんと集めてお焚き上げしていただくとのことである。

死体検案数掲載について

山口県警察管内発生 of 死体検案数								
	自殺	病死	他殺	他過失	自過失	災害	その他	合計
Feb-22	9	217	0	0	12	0	5	243

死体検案数と死亡種別 (令和4年2月分)



変わりゆく未来を、変えてゆく。

何もしなくても、時と共に未来は変わってゆく。どうせ変わる未来なら、受け身の未来より、前に進もうとする未来がいい。変わろうとするエネルギーが、きっと未来を輝かせるはずだから。

